



学校現場における地域 との情報共有について

学校現場において、地域や市内各種団体などからの案内やパンフレット等の情報提供資料は、子どもたちに配るのではなく、指定の場所に置いて、持ち帰りたい子どもが持ち帰るということになっている。

「地域とともに」や「地域の協力が必要」等、地域や地域団体との関係強化をうたっているが逆行しているのではないかと危惧する。

問 タブレットなどを利用して資料配布は考えられないか

答 デジタル技術の活用も含め、発展的な見直しをします

効果的に伝わるよう、デジタル技術の活用も含め、情報提供のあり方について、発展的な見直しをしたいと考えています。

問 地域や地域団体の思いをどのように捉えて進めていくのか。

答
教育指導部長

地域の人とのつながりを生かしたイベントや体験活動は多様な学びや経験を積む重要な機会であり、子どもたちの豊かな成長を支えるとともに、地域とのつながりや郷土への愛着を育む重要な役割を果たしていたいただいていると考えており、感謝しているとこ
ろです。

問 タブレットやメールなどを利用した資料配布は考えられないか。

答 教育指導部長

答
教育指導部長

問 資料の配布は、どれほどの負担になると考えているのか。

答
教育指導部長

配布は、朝の会や帰りの会等、限られた時間に行われて

令和7年度からの配布方法の見直しから1年が経過し、教職員の負担軽減には一定効果が見られる一方で、地域活動等に関する情報が十分届いているかという点については課題もあることから、情報が

その他の質問



名誉市民条例の制定について